



校訓「ほんきで なかよく きまりよく」【学校創立150年・地域に支えられ、がんばる桑っ子】

学校教育目標 …「夢に向かい 感性を育む 桑っ子」

重点目標…「自ら感じ、考え、行動する子」

「ありがとう」そして、「さようなら」

学校便り『さくら』の特別号を発行いたします。この号では、令和5年度末をもって、桑村小学校を転退職する5名の職員の挨拶を載せます。

◆渡邊 衛校長

桑村小学校で2年間勤務させていただきました。素直な「桑っ子」の成長に微力ながら関わることができ、とても幸せに思います。豊かな「感性」を育むことを目指し取り組んできた2年間、保護者の皆さん、そして、学校応援団をはじめとする地域の皆さんの応援がとても嬉しく思われました。本当にありがとうございました。

桑村小学校は創立150周年を終えた今、ここから新たなページを開こうとしています。「幸せな学校」、そして「幸せな社会」の創造を目指し、益々発展されますことを願うとともに、どうか皆様方におかれましても、お身体を大切にご活躍されますことをお祈り申し上げます。

「一期一会」、素敵な出会いに感謝！ありがとうございました。

◆橋本 泰代養護教諭

「おだやかに、おだやかに」私はこの言葉を子供たちに投げ掛けています。学校中で浸透しているとは言い切れませんが、私を見掛けた子供たちから「おだやかに、おだやかに」と笑顔が返ってくることもあります。気持ちが通じ合っているように感じられて、とてもうれしかったです。ありがとう！「おだやかに、おだやかに」

◆矢野由美子事務主事

憧れの桑村小学校でお仕事をさせていただけたことは、私の人生の宝物となりました。豊かな自然の中で、元気な桑村小学校の子どもたちや先生方と過ごした時間は、とても充実していました。これからもみんな仲良く、元気にお過ごしください。私は、いつまでも、どこでも桑村小学校を応援しています。ありがとうございました。

◆小長谷一史教諭

夕方に3階の校舎西側へ行くと、綺麗にオレンジ色に染まった空を見ることができます。今まで、水平線に沈む西伊豆の夕日が一番だと思っていましたが、桑村小学校から見える、山の稜線を照らしながら沈む夕日の美しさも負けていませんでした。桑っ子たちとたくさん学び、たくさん遊んだ3年間でした。ありがとうございました。行ってきます。

◆松永 紗里教諭

「先生遊ぼう！」と明るくたくさん声をかけてくれた桑っ子。委員会活動を工夫してより良い活動にしようとする桑っ子。やると決めたら最後まであきらめずがんばり続ける桑っ子。さり気なく「大丈夫？」と優しく思いやりの気持ちをもって友達に声をかける桑っ子。この4年間で私は桑っ子の良さをたくさん見つけました。一人一人の良さがキラキラ輝く桑村小学校で過ごした日々は私にとって宝物です。その宝物を胸に東小学校でも笑顔を大切に頑張っていきたいと思います。

桑っ子のみなさん、今しかない時間を楽しく前向きに過ごしてほしいなと思います。またどこかで成長したみなさんに会える日を楽しみにしています。4年間ありがとうございました。

本日、離任式が開催されました。大好きな桑っ子の姿を見ることができるのが今日で終わりだと思ったら、涙が溢れてきました。幸せな時間を共に過ごさせていただき本当にありがとうございました。皆さんの活躍をいつまでも応援しています。

また、保護者の皆様、地域の皆様、これまでたくさんご協力いただき、感謝の思いでいっぱいです。どうかこれからも桑村小学校を温かく見守って欲しいと思うとともに、皆様方のご多幸をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

